

Kagoshima Nursing Federation

ren mei



No. 72

April
2022

特集

“マイホーム”での看護を目指して

森 恵 (訪問看護ステーションかりん)

パラレルキャリアと私

山下 友香

研修報告

2022 年第 1 回青年部ブロック会議

看護連盟研修「看護記録」管理者編

リーダーシップ研修III-2

リーダーシップ研修III-3

— 皆さまの応援よろしくお願いします —

看護の明日をつくる ともものうりお

保健師

看護師

弁護士

<https://k-kango.net/>

挨拶

Greeting

陽春の候、
ますますご清祥のことと
お喜び申し上げます



鹿児島県看護連盟 会長

吉崎 和子

KAZUKO YOSHIKAZI

特集

Tomonoh.02

友納理緒（とものうりお）

1980年生まれ。東京生まれ神奈川育ちです。
父の転勤で、福岡、香川に住んでいたことがあ
ります。看護と法律。両方の専門知識をもった
リーガルナースとして、みなさんの声を集めて、
明日の看護を変えていきます。

2022 年

参議院選挙、組織内候補者の

とものうりお
です。



公式サイトや SNS で情報配信中です！

令和3年度が終わり、計画した事業・研修等も恙無く遂行することが出来ました。これも、皆様のご支援、ご協力の賜物です。厚くお礼申し上げます。

さて、皆様方の職場は、新年度を迎え新しい仲間が増え、活気に満ちていることでしょう。今年卒業された皆さん、夢と希望・不安の複雑な気持ちで、先輩がたの指導を受けておられる真最中ですね。先の見えないコロナ禍ですが、まずは元気で乗り切ってください。

鹿児島県看護連盟も、新年度を迎え、目標に向かって走り出しました。まずは、7月の第26回参議院選挙で高得票で友納理緒さんを国政に送り出すことです。超短期決戦です。

無理を承知で無駄なく効率よく戦いを進めている最中です。お一人おひとりの看護職の方々の力を結集し、結果を出しましょう。私達のキャッチフレーズは、ピンチこそチャンス！！「見せるぞ看護の底力」皆様、

どうぞお力を貸してください。

広報誌72号は、「とものうりお」特集第2弾です。日本看護協会福井トシ子会長と日本看護連盟大島敏子のWとしこがタッグを組んで奮闘されています。長引いている新型コロナウイルス感染症に対して、身を粉にして貢献してきた看護職の活動を適正な評価を受けるための選挙と称して、岸田総理大臣や看護職国会議員に働きかけてられました。鹿児島県でも、田畑協会長のご協力を頂き、協会の方々にご支援をお願いしている次第です。法律の専門家である「とものうりお」さんが、国政の場で活躍することに非常に期待が持てます。とものうさんが5つの政策を実現させるために、何でも国政に送り出しましょう。看護のことは、自分たち看護職で勝ち取ろうではありませんか。

期日前投票100%を目指して、7月10日、最後の最後まで皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

ともものうりお が取り組む 5つの看護政策

1 コロナ禍、頑張る仲間がもっと報われるために

まず、平時から余裕をもった人員配置が必要であり一時的な給付とどまらない給与への反映と看護職のもとに確実に届く仕組みづくりが必要です。

薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士などの職種と比べても賃金は低く、他職種との差をみると30歳で約4.5万円であり、その後も差は広がります。看護職と医師、歯科医師、事務職などと給与を比較した場合、看護職は医療職俸給(三)の2級を占める割合が83.6%と高率であり看護師長職の3級が8.4%と他の医療従事者や事務職よりも低くなっています。

また、介護施設と病院で働く場合の看護師の賃金に差があることや医療施設における賃金処遇の26.2%は国家公務員の医療職俸給表(三)参考にしていることから、看護職として適切な俸給表の見直しが必要であると思います。

2 看護職がもっと生き生きと働き続けられるために

労働基準法では、16時間で1時間維持用の休憩、8時間では1時間の休憩となっていますが看護職は変形労働での働き方です。

看護業務の効率化と生産性向上の仕組みづくりや知的時間労働のあり方等を検討することが必要になります。また職員を守り、暴力、ハラスメント対策として根底から解決をめざし業務に支障をきたさないことや職場外からのハラスメントについても対応できる仕組みづくりも必要だと考えています。

5 看護職がもっと安心して子育てができるように

病児・病後児保育施設など多様な保育の受け皿の整備と「小1の壁」が生じないような学童保育の拡充が必要です。



3 地域社会にもっと訪問看護を

2025年までに訪問看護者は最大12万人必要とされていますが自然増のみでは75,980人にとどまる見込みで約4.5万人増員が必要とされています。現在、訪問看護ステーションで働く看護師の数は全就業看護師の約2%~3%で推移しています。

日本看護協会が提案する訪問看護師倍増は、1)訪問看護ステーションの拡大 2)医療機関からの訪問看護の提供 3)訪問看護師の採用、育成です。

人材育成のための基盤整備にむけた方策として「訪問看護総合支援ステーション(仮称)」設置の構想もあります。ナースセンター事業と連携して訪問看護の就労相談、体験を実施したり、看護小規模多機能型居宅介護の普及と設置、疾病予防と療養生活を支え訪問看護や外来機能を強化、拡大することが今後さらに求められてくると思います。

4 看護職にもっと安心、安全を

裁判により医療職者と患者・家族が対立構造になるのではなく一緒になって問題解決に向けた取り組みに結びつけられる『裁判外紛争解決』の推進に取り組みたいです。また医療事故調査制度では補えない範囲への対策も必要です。

<2月6日リーダーシップ研修III-2報告より>

活動報告



2/25

看護の組織内候補予定者として

2月25日に開催された日本看護連盟の通常総会において、この夏の参議院選挙の組織内候補予定者に決定していただきました。

たいへん身の引き締まる思いです。
全身全霊をかけ、一生懸命頑張ります！
また、総会後には決起大会が開催され、ご挨拶をさせていただきました。

3/13

自由民主党大会 2022

第89回自民党大会で全国比例の公認候補者としてご紹介いただきました。決戦の時が刻一刻と近づいてきております。

看護界の皆様と、そして応援してくださるすべての方々と共に最後まで駆け抜けたいと思います！

岸田文雄総裁の演説の中でもコロナとの闘いの最前線にいる医療福祉関係者への感謝が述べられていました。

看護連盟の皆様、石田先生、そして河村健一先生、星北斗先生、山本さちこ先生をはじめともに頑張る皆さまとお目にかかることができ大変嬉しかったです。

3/22

初めての経験！

静岡県で生まれて初めての街頭演説をさせていただきました。

しかも静岡駅前、浜松駅前、三島駅前の3か所でお越しくださった皆様ありがとうございました。

皆さまに応援いただけるのも日ごろの看護連盟の皆さまの活動のおかげです。

<ともものうりお公式サイトより転載>

“マイホーム”での 看護を目指して

訪問看護ステーションかりん

森 恵



季節を肌で感じることができるのも訪問看護ならではの。



最期の瞬間も手を握って、穏やかに・・・

「マイホームでの生活をお手伝いします」をモットーに、
平成 24 年 3 月にオープンして、今年で 10 周年を迎えます。

2011 年 3 月 11 日未曾有の大震災が日本を襲いました。夜勤明けで病棟会に行こうとしていた自分はテレビの津波の映像を見ながら「これが日本？」と呆然としたのを覚えています。それまでの日常が、明日も続くとは限らないと思い知った瞬間でした。在宅医療に少し疲れて、病棟で働いているところの大震災。これから自分の人生をどのように過ごしていくのか？一度の人生で後悔しないためにはどうすればいいのか？考える日々の中で、もう一度在宅医療に携わってみようと思い、訪問看護ステーション開設（訪問看護単体の事業所）を決めました。

「なぜ訪問看護なのか？」と、色々な人から聞かれます。理由は色々あれど、基本的には「人とのコミュニケーションが好きだから・・・」と答えるようにしています。訪問看護を提供している時間は、療養者のもとでじっ

くり話を聞くことが出来る。笑顔も涙も、苦労も全部自分ひとり占め。そして苦労を分かち合えるスタッフと話し合いながら、療養者の人生を支えていく。これはとても幸せなことだと思うのです。もちろん大変なこともたくさん！あります。起業したからには、スタッフの生活のことも考えなきゃいけない。スタッフのワークライフバランスも考えなきゃいけない。事業と看護の両立を目指すことは、思っていた以上に大変。それでも、やっぱりこの道が好きで、もう少しこの道で頑張っていこうと思っています。

「マイホーム」は「マイハウス」ではない。

自分がそこにいて良いと思える場所を提供できるように。医療と看護と生活を支え続けられるように、一歩先行くケアを目指して、これからも頑張っていこうと思います。



プロフィール

森 恵

1965 年 1 月 15 日生まれ

働きながら鹿児島市医師会看護学校専門課程卒業。

卒業後、救急病院・産婦人科を経て、訪問看護ステーション・在宅支援診療所・精神科訪問看護を経験。

2012 年 3 月訪問看護ステーションかりんを開設。

2018 年鹿児島県訪問看護ステーション協議会理事就任。



人生はなにかを成し遂げるためにはあまりにも短い

『パラレルキャリア』という言葉をご存じですか？

パラレルキャリアとは、ピーター・ドラッカーが著書『明日を支配するもの』等にて提唱しているこれからの社会での生き方のひとつで、現在の仕事以外の仕事を持つことや、非営利活動等に参加することを指しています。ピーター・ドラッカーの著書によると、歴史上はじめて人間の方が組織よりも長命になったために、人は組織のみに頼らず、それとは別に第2の人生を始める必要が生じてきたのだそうです。その第2の

人生のひとつがパラレルキャリアであります。パラレルには「平行・並行」という意味があり、また「複業」と表現されることもあります。そして、ひとつの企業に所属・依存せず複数の仕事やキャリアを並行して築き働く人をパラレルワーカーと表します。

この言葉に出会ったとき、私の生き方も同様に、単なる異端児ではなく時代の流れに沿った生き方なのだと勝手に解釈し、一人嬉しく思っていました。

看護師という職業との出会いとパラレルワーカー



私には夢がありました。創り出すことの楽しさを教えてくれた母のように、大好きな手芸や料理を活かして、子供たちに家庭や地域の生活を創造する能力と実践力を伝えたいと家庭科の先生を目指していました。

しかし、運命のいたずら？で、志望校に落ち、当時仲良くしていた友人が希望していた県外の学校の近くにあった、ピカピカの真新しい校舎の写真にひかれて選んだ学校の受験（看護科）にのみ合格したため、看護を学ぶことになってしまったのです。

親元を離れたという想いが優先し、ひとまず学校に通うようになりましたが、やはり看護師を志し、学ぶ場を選んできた同級生らからすると異質な存在であったようです。そのような中でも、その土地の方言をまね、3か月も経つと現地の人と間違われるほど生活に馴染むことができ、友人達にも恵まれた日々を過ごすことができました。幅広い分野を学ばせてくれていた学校だったので、今振り返るともっとまじめに取り組んでおけばよかったと思う反面、社会勉強も含め働かせていただいた様々な分野の職業経験が、看護師と名乗るようになった私の仕事の中でとても役立つ場面が多かったように感じます。

そのような経緯もあり、看護師として務める傍ら、ハンドメイド作家・マルシェ運営・手作りを通じた子育てサポートサークルの運営・地域イベントのボランティア・学校役員活動・外出支援・遠隔みまもり看護等々、『あ！ワクワクする！！！』と感じたことを直感のままにやってきました。

幸せのあり方が多様化しているように働き方も多様化している中で、時間と場所の制限から自由になり、各人にとっての幸せな生き方の実現を目指すパラレルワーカーが今後ますます増えてくると仮定した中で、そのパラレルワーカーに選ばれる場所を創っていきたいと感じたことが起業のきっかけの一つであります。

次回、起業のきっかけのもう一つ、『なぜ枕崎に看多機を創りたいのか』をお話したいと思います。

プロフィール

山下 友香

1977年枕崎市生まれ枕崎育ち、枕崎を愛し、枕崎在住。広島県立保健福祉短期大学卒業後、看護師・ケアマネジャー・雑用係として勤務。気になることには首を突っ込みたくなる性格で家族もさじを投げています。現在、枕崎に共生型看護小規模多機能型居宅介護事業所を創設するための準備期間という名目でパラレルワーカー満喫中。自由人。

Instagram ⇒ yuka.8321.love フォロー大歓迎



01 第1回青年部ブロック会議



2021/12/19 日

会議は COVID-19 の影響もあり、オンライン (ZOOM) となりました。鹿児島からは私を含めて 5 名の参加となりました。

今回の会議では、“看護師”であり“弁護士”の次期参議院選挙候補者、「友納理緒」さんの講演を拝聴した後、ZOOM のブレイクアウトルームを活用して、九州ブロックのメンバーで「若者の投票を考える」をテーマにディスカッションを行いました。

まずは、友納さんのお話から。看護師の代表として政界に進出する意気込みや政策について友納さんから直接お話を伺う機会は初めてでした。友納さんが看護師を目指したきっかけ (高校生の時に「マザー・テレサの家」を訪問したこと)、弁護士を志したきっかけについてお話されました。弁護士を目指したきっかけ (看護師の見方になってくれる人はいるのかな?) をお聞きし、他者の痛みや不安を自分のこととして考えられる方なんだと強く感じました。二人の小さなお子様の子育てをされながら、弁護士という多忙な職務をこなされるだけでなく、看護の未来のために政治家を目指す。相当な覚悟と志を感じました。これから、選挙に向けてさらに多忙を極めることとなるでしょうが、友納さんならきっと私たちのために明るく前向きにチャレンジしてくださると思います。本当に“応援”したいと思える素敵なお話とお人柄でした。

次に、九州ブロックでの「若者の投票を考える」をテーマにしたディスカッションについて。各県から様々なユニークなアイデアや提案が

あり、楽しい会議となりました。

ブロックごとの会議の後は、ブロックごとの発表があり意見交換がありました。どのブロックもご当地をいかしたアイデア (九州は温泉券を発行する etc.) の発表がありました。その後のフリートークの中で我が鹿児島県看護連盟青年部の H 氏が「投票行動につながるうえで、看護師に対するメリットばかりを押してもダメなのではないか。もっと広く社会のために看護が貢献できることをアピールし活動していくことが大切なのではないか」と発言されました。この発言は、青年部委員長として何かモヤモヤとしていた私をすっきりさせてくれました。

看護は女性の職場です。今の看護の職場は正直なところ、子育てをしやすい環境とは言えません。子育て中のナースの夜勤問題や、保育園や児童クラブのお迎えの時間 (鹿児島は 18 時)、病児保育の問題など課題はいっぱいです。友納さんも、子育て真っ只中のママさんです。講演でも子育ての環境改善について触れていらっしゃいました。

私は、青年部委員長として、看護師として、一人の親として、看護師だけでなく女性の職場の環境を整える必要があると考えています。私は「友納理緒さん」は私たちと一緒に女性の職場環境を変えてくれる!! と確信しています。コロナが収束の折には、全国の仲間と友納さんとお酒を飲みながら語りたい。

それが今の私の願いです。

<報告>水迫友和 (鹿児島県看護連盟 青年部委員長)



日時 令和 4 年 1 月 22 日 (土) 13 時 30 分～16 時 30 分
会場 鹿児島県自治会館 401 号室
演題 「どう働きかける? どう生かす? 管理者の看護記録との関わり」
講師 鹿児島大学病院情報部 教授・(兼) 特命副院長 宇都由美子先生
参加者 会場参加 会員 37 名
Web 参加 105 名

新型コロナウイルス感染拡大で厳重警戒モードになってきた昨今、「管理者と看護記録・魅力ある宇都由美子先生の講演」に会場 37 名、リモート 105 件の参加があった。

看護業務の中で看護に費やされる時間は非常に多い。多様化するチーム医療の中、管理者は、患者の為に生かす記録のあり方とその削減に苦慮する日々である。今回、その解決案を学ぶ機会を得た。その結果、管理者の看護記録の関わりを下記のごとくまとめられ理

解へ導いた。

管理者は、現状分析を明確にし、時間をかけず、無駄な記録を省くなど看護診断を見直し記録の短縮を図る勇気で挑戦する。看護記録に要する記録の効率化への取り組みとしては働き改革で業務改善を図り記録の簡素化に繋げる事が大事である。

管理者が中心となって現場のやる気と、取り組みと、工夫が、必要であるなど多くを学ぶことができた。

- ・無駄な記録をなくす
- ・診療報酬上の加算や施設基準の要件を熟知し、看護サービスが病院収入に確実に反映するように導く
- ・適時に記録するためには現状の業務の断捨離を行うべき
- ・チーム医療を推進するためには 他のメンバーとできるだけ同じ用語を用いる
- ・適時調査、医療監視、個別指導に適切に対応できる
- ・インフォームド・コンセントは目的ではなく手段である
- ・看護業務の ICT への移行が効率化に繋がる
- ・蓄積されたデータから看護の専門性の情報発信ができるように
- ・構造化されたアセスメント情報によりさまざまな可能性が生まれる

<報告>始良伊佐支部長 石野田 京子

02 看護連盟研修「看護記録」管理者編

03 リーダーシップ研修Ⅲ、②



日 時 令和4年2月6日（日） 13時00分～16時00分
 会 場 鹿児島県看護連盟事務所
 演 題 1.「看護の明日をつくるための私の挑戦」
 2.「令和時代の新・参議院選戦略」
 講 師 1. 友納理緒 看護師・弁護士（次期参議院選挙の組織内代表）
 2. 岡山亮憲 看護師 日本看護連盟 広報委員
 対 象 県役員 支部長 支部幹事 プラチナ支部 青年部 施設幹事 施設リーダー
 参加者 会場 13名
 Web 参加 リモート 55名 計 68名 特別参加 日本看護連盟会長 大島敏子

当初は組織代表候補者「とものうりお」さんに鹿児島にお越しいただき、生の声を聴くことを計画していましたが、コロナ感染症拡大のため、リモート方式に変更しました。

皆さん、熱心に聴講され、「とてもいい研修だった」「楽しかった」などの声をたくさん聴き、充実した研修となりました。研修直後には、「とものうりお」さんより電話があり「皆さんのエールが力強いです。機会があれば事務所の設営を見せたい。ありがとうございました」と感謝の弁を述べられました。また、日本看護連盟会長 大島敏子会長もリモート参加いただき、「鹿児島県はまだまだ伸び代があります。

一緒に頑張りましょう」と激励を受けました。

講演Ⅰ「看護の明日をつくるための私の挑戦」

講師：友納理緒（次期参議院選挙の組織内代表）

看護職として弁護士になり10年になり、看護における危険な事件、事故や面会禁止による人間関係形成の難しい問題とかかわってこられました。その知識と経験を生かし、夏の国政への挑戦を決意されました。

5つの柱を掲げ、その抱負をお話いただきました。

講演の内容もさることながら、質疑応答を通して、友納理緒さんの人となりが見える貴重な講演会でした。5つの柱を実現させるためには、法律の専門家である、友納先生しかいらっしゃらないと思えてなりません。

必ずや、先生を国政に送りましょう。

詳細内容は [4P](#) へ



講演パートⅡ「令和時代の新・参院戦略」

講師：岡山亮憲（日本看護連盟広報部）

講師は、兵庫県出身。青年部長を歴任された方で、最近日本看護連盟本部の広報部に配属されました。年齢35歳。兵庫県に妻子を残して本部に赴任されているとのこと。今までの青年部長としての経験を生かし、とても、わかりやすく講演していただきました。鹿児島県のこれからの選挙に向けて、具体的活動の参考になりました。

お話の内容は、

1. ここ最近の選挙の状況
2. これまでの選挙戦
3. 選挙戦のトレンド
4. これからの戦い方 です。

「令和時代の」がキーワード。昭和でもなく、平成でもない。今回の選挙戦は、期間がとても短い超短期決戦です。いままでに経験したことのない戦いになります。時間がないからこそ、無駄のない、効率の良い行動するためには、SNSを使った戦略しかありません。しっかり、そのノウハウを教わりましたので、あとは、実践するのみ。

今までの後援会活動・電話作戦・街宣活動・リーフレット配布・名刺交換などではなく、標的に合わせた対策を講じることの重要性を学びました。SNS戦略WGが発足し、その委員長は以前鹿児島県の青年部長の嶋谷圭一さんです。これから、彼の指導の下、活動が始ま

ります。鹿児島県も早速、LINE公式アカウントを立ち上げました。「友達募集中」です。多くの皆様の登録をお待ちしています。

かごしまバージョン SNS戦略を構築していきたいと考えております。これから、戦略的に、対象の目線を重視しながら発信します。どうぞ、ご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

Q

広報委員を長年やってこられて印象深かったことは？何かアドバイスがあれば。

A

山際大四郎経済再生担当大臣に、お会いできたこと。広報担当としては、友納理緒個人が見える形の広報をしたい。アドバイスとしては、ダブルで行くとインパクトが強い。看護部長への働きかけが重要

講師は看護師歴15年の今風のかっこいい好青年でした。兵庫県に妻子を置いての単身赴任中。青年部長・広報員の経験を生かして、これから孤軍奮闘しながら、私たちに的確な指示をくださること間違いなし。頼りにしてます！！岡山先生。

04 リーダーシップ研修Ⅲ ③



左下：五反方正彦秘書



石田まさひろ参議院議員
写真：https://www.facebook.com/masahiro.ishida.seisaku

2022/3/26 土

研修当日は、とものお氏を応援する黄色Tシャツ姿の参加者を背景に、何事始めるにも良い日とされる「一粒万倍日」であることが会長挨拶で告げられ、とものお氏当選の期待に胸を膨らませながら講演がスタートしました。

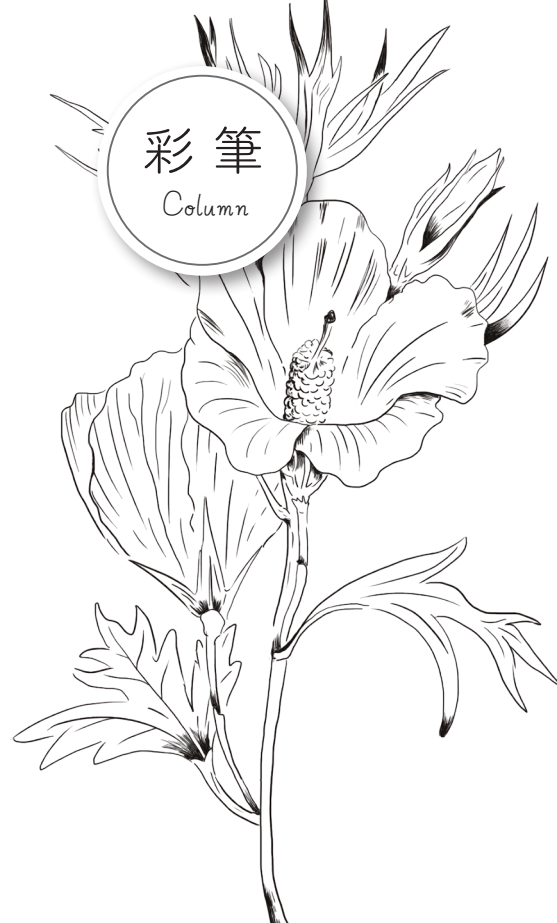
講演1「SNSを使った具体的な情報発信について」では、講師の西洋介氏（鹿児島市議会議員、原田学園学務部長）が、自らの県議選落選のエピソードを「しくじり先生」と例え、短期決戦に向けたSNS戦略について話されました。

5つのポイント「①画像や動画を使う②わかりやすい言葉にする③気さくなものの書き込み④複数のSNSを連携して楽しむ⑤シェアやツイートで楽しむ」を通して、SNSで自身に目を留めていただくためには、画面の工夫や親しみやすさが必要であること、自分の都合だけで記事をアップするのではなく、相手にとても有益な情報を継続的に発信し続けることで相手の信頼を得ることが重要であることを力説されました。

した。

講演2「国政に看護職代表がいることのメリットなぜ私達は連盟活動をするのか」では、講師の五反方正彦氏（鹿屋市出身、参議院議員石田まさひろ公設秘書）が、石田まさひろ氏の活動事例を通して、現場改善の為に看護の代表を国政に出すことの意味を教示されました。

令和3年度の補正予算で実現した看護職員への処遇改善事業補助金も成果の一つであり、これを機に看護職給与の抜本的改善に波及させようと長期的計画を立てていらっしゃるということでした。このように、看護職員現場改善の為には国政の場に要求しなければ成し遂げられないことも多く、年間2,000にも及ぶ法案の卵のうち昨年度審議された法案が127、成立した法案が68しかないという現実の中、看護職のための法案を成立させるためには、国政の場の看護職の仲間を一人でも増やす必要があることを痛感し、「とものお氏を国政の場へ！」と士気が高まった研修会でした。



自分自身を分析するのは私には難しい、
そんなに客観的になれないからだ。
そこで私という独りの人を分析してくれるコンサルタントがいたとして、色んなアドバイスをもらう。

「今」に着目してくれる人、「未来」に着目してくれる人、「仕事」に着目してくれる人、「暮らし」に着目してくれる人。私は「未来と暮らし」の話を聞いてみたい。そして今、登るべき山を見つける手助けになると漠然と思うんだ。

「これでやってく」ということさえ見つければ、もう半分ぐらい成功しているってものだ。「正解」はないんだから、決めたら思いっきりやればいい。情熱的にね。

畑中勇二

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。 今よりもぐっすり、
幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- メンタルヘルス研修
- 学校保健委員会
- 高齢者の睡眠ケア
- 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- 労働者におけるストレスと睡眠の関係
- 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

◆セミナーに申し込めば、
二次元バーコードより
お問い合わせください。
担当よりご連絡させていただきます。
https://www.toyoumo.co.jp/seminar



東洋羽毛九州販売株式会社 鹿児島営業所

〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目64-25 TEL: 099-813-5950 FAX: 099-813-5953

0120-881125 URL <http://www.toyoumo.co.jp>





令和4年度看護連盟会員を募集しております。

正会員 看護職の方

日本看護連盟会費 5,000円

鹿児島県看護連盟会費 3,000円

合計 年間 8,000円

賛助会員

賛助会員年会費 1,000円

鹿児島県看護連盟の活動に賛同いただける方はどなたでも加入いただけます。

学生会員 年会費無料

看護師、保健師、助産師又は准看護師の資格を得るために学ぶ学生で、看護連盟の主旨に賛同していただける方

問い合わせ先

鹿児島県看護連盟事務所

〒892-0816 鹿児島市山下町9番31号

第一ボクエビル203

電話 (099) 219-5334

FAX (099) 219-5336

Eメール: office.kagoshima@kango-renmei.gr.jp

第72号広報誌編集後記

希望にあふれる春を迎えました。原稿執筆、情報提供を頂いた皆様ありがとうございました。コロナウイルスとの付き合いも長くなってきましたが今回は起業された方の特集もあります。新たなことを始める、新しい風が吹いて来ることを願っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

広報委員：稲本・森田・畑中

